

こだま

第719号

JForest

岩手県森林組合連合会

発行／岩手県森林組合連合会

住所／岩手県盛岡市中央通3丁目15番17号

電話／019(654)4411

FAX／019(654)4420

URL／<https://iwatemoriren.org>



展示即売会の様子

県森連盛岡木材流通センター 秋期優良材展示即売会（後期）開催

十一月十七日、盛岡木材流通センターオーにおいて、令和四年秋期優良材展示即売会（後期）が開催され、四

二一五m³（前年度对比一一二%）の素材が落札された。落札率は九〇%。

前年度对比で針葉樹が取扱材積一五一%、落札価格一三四%、一mあたりの単価が一万八七三二円（前年度比一〇四%）、広葉樹に関しては、取扱材積一〇四%、落札価格一〇六%であり、一mあたりの単価が三万四三七二円（前年度比一〇七%）と高

くなっている。
主な高値落札物件は以下の表のとおり。

阿部岩手県森連木材部長は「昨年と比べ針葉樹は、ウッドショックの影響が落ち着き、とくに合板材などB材の需要は大幅に低下している。しかし、スギの役物、製材用などA材は、昨年と変動は無い。広葉樹は、ナラの単価上昇が著しく、一mあたり三千円から五千円程高くなっている。広葉樹は、ロシア産原木禁輸、円

安、輸入コストの増加により、輸入材が高騰。国産材にシフトしたハウスマーカーの製品需要増加に伴い製材所、工場などの昨年同様物不足が続いている。

これから広葉樹用材生産現場の奥地化が進行し、原木不足が懸念される。一方で一部の針葉樹は、製材品の急激な需要減少に伴い、製材・合板工場の生産が減少しており、価格は下落傾向にある。当面、港の製品在庫が落ち着くであろう春頃までは、こういった傾向が続くと考えられていることから、需要・供給のバランスを考えた山林経営が必要となってくるだろう」と話している。

盛岡木材流通センター 主な高値落札物件(11/17)

| 樹種 | 長さ(m) | 径級(cm) | m ³ 単価(円) |
|-------|-------|--------|----------------------|
| スギ | 4.80 | 84 | 137,000 |
| アカマツ | 7.60 | 66 | 225,000 |
| ヒノキ | 4.00 | 40 | 36,000 |
| カラマツ | 6.00 | 52 | 42,000 |
| ブナ | 2.40 | 44 | 62,900 |
| ナラ | 7.20 | 68 | 280,000 |
| ウダイ | 5.00 | 48 | 67,000 |
| クリ | 2.40 | 78 | 360,000 |
| オニグルミ | 2.10 | 52 | 100,000 |
| ミズメ | 4.20 | 58 | 290,000 |
| ホオ | 2.00 | 48 | 80,200 |
| サクラ | 2.20 | 38 | 79,800 |
| オノオレ | 2.20 | 28-34 | 87,000 |
| トチ | 3.80 | 50 | 169,000 |
| 黒ガキ | 1.20 | 44 | 138,889 |
| ケヤキ | 5.20 | 78 | 212,000 |
| セン | 2.20 | 56 | 50,000 |
| タモ | 4.40 | 42 | 67,800 |
| カツラ | 2.20 | 66 | 129,000 |

令和4年度岩手県森林組合 役員研修会開催される



赤堀楠雄氏による講演の様子

令和4年度岩手県森林組合役員研修会が、十一月二十九日に、ツガワ未来館アピオで開催された。今回の研修会には、県内十八森林組合から、百名を超える理事・監事等が出席した。

最初に、林材ライターの赤堀楠雄氏が『これから森づくり、木材生産、木材利用を考える』と題し、講演を行った。

赤堀氏は「林業は生産だけなく、常に『育てる時代』である。

雄氏が『これから森づくり、木材生産、木材利用を考える』と題し、講演を行つた。

丸太の品質が良くなければ、製材の際に手間とコストがかかる。『良い山』があれば、山主が有利になることから、『良い山づくり』の意味が問われている。森林所有者の立場が軽視されていることや、所有林への関心の低下を防ぐために、森林所有者のメリットを大きくしていく必要がある。』と語る。

その後、地域材のユーザーを増やすことを目的とした、さまざまな木材利用の具体例を紹介。

最後に、「さまざまなもの利用によって、地域の暮らしや山が見直されようになつた。暮らしは家庭と仕事と地域で成り立つていた。地域とは、『互助』『育成』『自然(森)』である。かつての中山間地・山村は、『仕事を外注すると、そこに暮らす意味が薄

ベースは『山づくり』であり、地域ごと、現場ごとに答えがある。

求められる『林業技術者』像は、技術者であり、そのためには科学的知見が不可欠、林業も手段と目的とはき違えない『性能規定』が大切になつてくる。

れ、地域が元気をなくし、力を合わせて暮らしを守ることができなくなることで、暮らしは脅かされる。かつてはメリットであったが、今は山があることが負担になつてることを受け、これからの木材利用と地域の暮らしを結び付けていくことが大切である。』と話し、地域活動と木材

利用を結び付けた林地集約化や『木の駅』等の具体例を紹介し、講演を終えた。

次に、仙台国税局消費税課消費税率国税実査官の黒澤政弘氏から『インボイス制度の概要について』の講演が行われ、研修会は盛会裏に終了した。

令和4年度第二回森林組合参事クラス幹部職員会議開催される

⑧森林整備事業予算について

①については、阿部県森連木材部長から説明が行われた。十一月末時

今年度二回目となる森林組合参事会議には、県内十七森林組合の参事午前十時半から、岩手県森林組合会館五階研修室で開催された。

会議には、県内十七森林組合の参事クラス幹部職員のほか、中崎県森連代表理事会長をはじめとする県森連役員等、約三十名が出席した。

協議内容は次の八項目。

- ①木材需給状況について
- ②無人ヘリによる森林計測サービスについて
- ③インボイス制度について
- ④育児・介護休業法の改正について
- ⑤森林組合模範定款の一部変更について
- ⑥令和4年度自主点検シートの点検結果について
- ⑦林業労働災害防止対策について

が減少し、在庫量も十月よりますます減少しているが、原木の受入制限は無く、チップの要望も増えている。バイオマス・パルプ工場は、原木入荷量も下がっていく可能性が高い。バイオマス・パルプ工場は、原木入荷量の森林整備予算について、当初要額と実際の交付金額(見込み)を踏まえ、今後の対応等について協議した。

**令和四年度 J F o r e s t 全国森林組合
代表者大会表彰受賞者決定**

本県からは功労者表彰者十五名表彰される

**岩手県森林組合連合会
11月上旬市況**

一般素材県内各センター渡し丸太標準価格(1m³当たり)

| 樹種 | 長級(m) | 径級(cm) | 標準価格(1m ³ 当たり) | 今後の動向 |
|------|-------|--------|---------------------------|-------|
| スギ | 4.00 | 10~16 | 10,000 | → |
| | 3.65 | 18~28 | 12,000 | → |
| | 3.65 | 30上 | 12,000 | → |
| | 3.65 | 40上 | 11,500 | → |
| | 3.00 | 16~26 | 14,000 | → |
| | 2.00 | 18上 | 9,500 | → |
| アカマツ | 4.00 | 18~22 | 11,000 | → |
| | 4.00 | 24~28 | 11,500 | → |
| | 4.00 | 30上 | 13,000 | → |
| | 4.00 | 40上 | 13,000 | → |
| | 3.00 | 18~28 | 11,500 | → |
| | 3.00 | 30上 | 11,500 | → |
| | 2.20 | 40上 | 12,000 | → |
| | 2.00 | 18上 | 11,000 | → |
| カラマツ | 4.00 | 14下 | 12,000 | → |
| | 4.00 | 16~28 | 22,000 | → |
| | 4.00 | 30上 | 22,000 | → |

令和四年度全国森林組合代表者大会が、去る十月二十五日午後一時半から東京都中央区にある銀座ブロッサム中央会館で開催された。

大会では、永年にわたり組織の発展に功労があつた方（常勤役員通算九年以上、代理理事通算六年以上、職員通算二十年以上、現場技能者通算五年以上かつ過去三万年それぞれ年間就労日数が百五十日以上）に贈られる「功労者表彰（永年勤続）」と、

I 功労者表彰（永年勤続）
・単位組合職員
遠藤 加代子

（盛岡広域森林組合）
鈴木 淳
（盛岡広域森林組合）
村山 健一
（盛岡広域森林組合）

引地 徹
（宮古地方森林組合）
瀬川 洋蔵
（一関地方森林組合）
川島 菅原
（一関地方森林組合）
村上 卓也
（一関地方森林組合）
信也

（宮古地方森林組合）
三浦 智和
（淨安森林組合）
表記後、「森林整備のための財源確保について」
青森県森林組合連合会

系統組織の発展に功績のあつた団体個人に贈られる「感謝表彰」の受賞者に、表彰状が授与された。

本県からの全国森林組合連合会長表彰受賞者は次のとおり。

（盛岡広域森林組合）
菅原 明光
（奥州地方森林組合）
菅原 清志
（一関地方森林組合）
菅原 松好
（一関地方森林組合）
菅原 卓也
（一関地方森林組合）
菅原 信也
（一関地方森林組合）
菅原 洋蔵
（一関地方森林組合）
菅原 隆雄
（一関地方森林組合）
菅原 引地

佐藤 雄厚
（花巻市森林組合）
澤口 敬志
（久慈地方森林組合）
小笠原 政夫
（盛岡広域森林組合）
長澤 真吾
（盛岡広域森林組合）

の須藤廣明代表理事長が、「森林組合系統運動の推進について」京丹波森林組合の樋口義昭代表理事組合長が、それぞれ意見表明を行った。

また、大会決議としては、①国土保全等森林の公益的機能の發揮に必要な森林整備予算の大幅な拡充と森林環境譲与税の活用促進支援、②伐後再造林の確実な実施を通じた森林資源の循環利用の推進と林業経営確立のための取組強化、需要拡大等による国産材の持続的かつ安定的な供給体制の構築、③技能検定制度創設等労働安全対策推進や就業環境改善とともに「緑の雇用」事業、森林プランナー育成対策事業等による人材の確保・育成について満場一致で決議された。

また、大会終了後には、大会に参加した森林組合長等が、県内選出国會議員に対し、以下の六つの項目についての要望活動を行つた。
 ①カーボンニュートラル・国土強靭化に向けた森林整備・保全と適切な管理の推進、②人材の確保・育成と労働安全対策推進強化、③生産性向上と需要拡大による国産材の供給・利用促進等、④森林環境譲与税の活用促進、⑤林業及び山村振興等に必要な林業税制の改正、⑥激甚な災害からの復旧・復興

スギ中目材に活気

県内センターの取扱量は累計で前年度比121%。単月では約500m³の販売増。

県内合板工場の生産は減っている模様。受け入れ制限が続いている。

スギ中目材、細材は虫害の心配も無くなり売れ行きは好調。細材、大径材は保合。役物用は需要あり。

カラマツは、中目材の引き合いが弱い。小径木は、6~12cmが不足している状況だが価格は保合。13~14cmは保合。

ヒノキは、需要があるものの入荷は少ない状況。良材は高値。

盛岡センターでは、広葉樹の入荷が多い。ナラ、クリは引き合い価格ともに強気。特にナラの30cm上は高値。

<上段…特選材 下段…一般材> (m³当たり)

| 木材流通センター | | | 盛岡 | 一関 | 遠野 | 高田 | 宮古 | 二戸 | 久慈 | 净安 | 釜石 | 東磐 |
|----------|--------------|----------------------|------------------|------------------|--------|------------------|--------|--------|------------------|------------------|------|--------|
| 樹種 | 長級(m) | 径級(cm) | 10月20日 | 10月4日 | 10月25日 | 10月14日 | 10月7日 | 10月6日 | 10月19日 | 10月21日 | 開催せず | 10月27日 |
| スギ | 2.00 | 18cm上 | 8,000 | - | 10,000 | - | - | 9,000 | - | 9,000 | - | 9,000 |
| | 3.00 | 16~26 | 11,500 | 13,250 | - | 14,500 | - | 9,580 | - | - | - | 12,500 |
| | 3.65 | 18~28 | - | - | 10,800 | - | - | - | - | - | - | 11,000 |
| | 3.65 4.00 | 30cm上 | 81,000 13,520 | 23,666 12,600 | 12,600 | 24,300 14,600 | 12,000 | 12,000 | 27,800 11,200 | 15,500 11,800 | - | 11,800 |
| | 4.00 | 10~16 | 9,000 | - | 10,220 | 10,220 | 8,500 | 9,620 | 9,600 | - | - | 10,610 |
| 落札数量 | | 3,603 m ³ | 513 | 272 | 490 | 224 | 116 | 559 | 194 | 207 | 0 | 1,028 |
| アカマツ | 2.20 | 36cm上 | - | - | - | - | - | 9,500 | 9,600 | - | - | - |
| | 3.00 | 14~28 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 4.00 | 18~28 | - | - | - | - | 10,600 | - | 11,300 | - | - | - |
| | 4.00 | 30cm上 | - | - | - | - | - | 14,000 | 16,500 12,600 | - | - | - |
| 落札数量 | | 129 m ³ | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 21 | 73 | 24 | 0 | 0 |
| カラマツ | 4.00 | 7~13 | 12,500 | - | 12,000 | - | - | 10,010 | 10,800 | 11,500 | - | - |
| | 4.00 | 14~28 | 23,800 | - | 19,000 | - | - | 20,300 | 21,010 | 19,000 | - | 17,000 |
| 落札数量 | | 1,554 m ³ | 187 | 0 | 103 | 0 | 0 | 735 | 313 | 193 | 0 | 13 |
| 出荷数量 | | 7,751 m ³ | 2,138 | 705 | 597 | 285 | 179 | 1,098 | 854 | 522 | - | 1,373 |
| 落札数量 | | 6,506 m ³ | 1,958 | 352 | 596 | 228 | 128 | 885 | 801 | 514 | 0 | 1,044 |
| 平均落札率 | | 84% | 92% | 50% | 100% | 80% | 72% | 81% | 94% | 98% | - | 76% |
| 延べ参加者 | | 250名 | 90 | 27 | 17 | 13 | 7 | 22 | 33 | 21 | 0 | 20 |

※ 総出荷・総落札数量については、上記の樹種以外も含みます。

| 今後 動向 | スギ | | | | | アカマツ | | | | | カラマツ | | |
|----------|------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|------|------|-------|------|------|
| | 2.00 | 3.00 | 3.65 | 3.65 | 4.00 | 2.20 | 3.00 | 4.00 | 4.00 | 4.00 | 4.00 | 4.00 | 4.00 |
| | 18上 | 14~18 | 18~28 | 30上 | 10~16 | 36上 | 14~28 | 18~28 | 30上 | 7~13 | 14~28 | | |
| 強気配 | | | | | | | | | | | | | |
| 保合い | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 弱気配 | | | | | | | | | | | | | |

造作用材のポイント

1. 元根曲りを付けないこと
2. キズ、欠点などは除くこと
3. 延寸は十分付けること